

平成24年7月25日

鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生の取組
「刈り払いの実施」

平成24年7月25日（水）に自然再生実施協議会による刈り払いボランティアを「土湯の森」で実施しました。参加者は神室山系の自然を守る会、山ノ内地区会、最上エコポリス自然案内人、戸沢村役場、最上支署、名高森林事務所及びふれあいセンター職員の合同メンバー28名での実施となりました。

この刈り払いは平成19年度から実施しており、今年度で第6回目となりました。当区域は、天然林の実生木の発生・更新を目的として、将来的には天然木による原状回復を目指し、動物等の移動が可能となるような森林への再生を目標としています。

現段階ではアカマツ、天スギ、リョウブ、イタヤカエデ等が先行樹種として目立っています。現地は裸地化したスキー場跡地でもあり、地表を稚樹で埋めることは困難を極めるものと想定していましたが、天スギの一体的な広がり、草地における落葉広葉樹の発生等もあり、全面的に稚樹が発生しつつあり、回復の兆しを徐々に見せています。

作業は刈払機と手鎌で実施しました。皆さん手慣れた作業で約0.45haをあっという間に終了することが出来ました。参加者からは、地域の参加者をもう少し増やしてほしい等の意見もあり、活動の輪を更に広げていきたいと考えています。

また、この一帯の森林は、地域の水瓶としての役割も担っており、この自然再生活動が直接的に森林の回復に繋がっていくことを期待しています。

ボランティアに参加された皆様方には、暑い最中、ご協力を頂き感謝申し上げます。



イタヤカエデ



作業風景